

日本バスケットボール協会 コーチの行動規範

序言

ここに日本バスケットボール協会コーチの行動規範を示します。この行動規範は、常にコーチを拘束するような絶対的な規則というわけではなく、よりよいコーチのあり方やコーチングのために資する基準（スタンダード）、つまり原理原則を示したものにすぎません。それぞれのコーチは、自分自身の置かれた状況とそのコンテキストの特徴を見極めたうえで、適切な原理原則を考慮に入れて主体的・自律的に行動していただければ幸いです。

全般的な内容

1. コーチは、プレーヤーがいるからこそ自分がコーチとして活動できていることを覚えておくこと。
2. コーチは、法令を遵守し、倫理観を持ち、道徳を重んじること。
3. コーチは、年齢、性別、人種、民族、宗教、言語、文化的背景、身体的能力、社会的地位、所属組織などに関係なく、あらゆる個人の権利と尊厳を尊重し、公正に接すること。
4. コーチは、いかなる種類のハラスメントも行わず、ハラスメントを行っている人々を見過ごさないこと。
5. コーチは、バスケットボールの価値を損なわず、その発展と普及に寄与すること。

コーチとプレイヤーの関係について

6. コーチは、プレイヤーをコーチングする責任を自覚し、プレイヤーの人格を尊重すること。
7. コーチは、プレイヤーが心技体において向上するのを支援するために自らの技能と知識を尽くすこと。
8. コーチは、プレイヤーの幸福（ウェルビーイング）（なりうる最高の自分になること、およびそこから生じる喜びを享受すること、他者と良好な関係を築いていることなど）を大切なことと考えること。
9. コーチは、プレイヤーの健康や安全に気を配ること。
10. コーチは、プレイヤーが主体的な判断を下せるように配慮すること。
11. コーチは、プレイヤーの意図しない失敗や間違いに対して寛容であること。
12. コーチは、プレイヤーに対して公平かつ誠実であること。
13. コーチは、プレイヤーの言葉に耳を傾けること。
14. コーチは、プレイヤーの模範として行動し、プレイヤーが誇りに思えるような人間であること。



コーチとプレーヤー以外の人々の関係について

15. コーチは、プレーヤーのみならず、他のコーチ、スタッフ、関係者、家族、自分自身の幸福（ウェルビーイング）も念頭に置いておくこと。
16. コーチは、チーム活動に関わる共同体の一員であることを忘れないこと。
17. コーチは、対戦相手に敬意をもって接すること。
18. コーチは、審判が下す判定をできる限り尊重すること。
19. コーチは、自分の恩師に対する感謝と敬意を忘れないこと。
20. コーチは、自分の後進に対する配慮と気遣いを忘れないこと。

コーチ自身のこと

21. コーチは、コーチとしての卓越性を向上させるために学び続け人としての美德を高めるために研鑽を積むこと。
22. コーチは、自らのコーチング哲学を持つこと。
23. コーチは、バスケットボールという競技の本質を理解しようと努めること。
24. コーチは、バスケットボールの技術や戦術およびその指導方法を研究し、自己のコーチング能力の修養に努めること。

- 25. コーチは、あらゆる事柄に対して誠実さをもって行動すること。
- 26. コーチは、誤解を招くような言葉は慎み、精確な言葉を使うように心がけること。
- 27. コーチは、危機管理の意識を持ち、問題が起こってしまった場合にも迅速かつ適切に対処すること。

コーチングについて

- 28. コーチは、自らのコーチングに責任を持つこと。
- 29. コーチは、プレーヤーに最大の利益をもたらすコーチングを行い、人として成長し、プレーヤーとして向上できるように支援すること。
- 30. コーチは、プレーヤーがバスケットボールの楽しさや喜びを実感できるようなコーチングを心がけること。
- 31. コーチは、たとえプレーヤーや保護者が望んだとしても体罰や暴言暴力や威嚇は用いずにコーチングを行うこと。
- 32. コーチは、どんなときもプレーヤーやチームの能力とニーズ、自分の置かれた状況を見極め、柔軟かつ臨機応変に行動すること。
- 33. コーチは、プレーヤーが試合のなかで自らの卓越性を発揮できるようなコーチングを行うこと。
- 34. コーチは、チームが試合のなかで一丸となって戦えるように配慮すること。

- 35. コーチは、今この試合の勝利を手に入れるために全身全霊で取り組むこと。
- 36. コーチは、自らの知識と活動量の限界を弁え、他のコーチや専門家たちと協力すること。
- 37. コーチは、自分自身のコーチングと自分自身のあり方を定期的に振り返り、より善いものを探求すること。
- 38. コーチは、自らのコーチングを通じて善く生きることを目指すこと。

